MIST キトキト！ランチョンセミナー1

骨粗鬆症性椎体骨折に対する ステントバルーンを用いた 経皮的椎体形成術の適応と利点

演　者

南出 晃人 先生

獨協医科大学日光医療センター　整形外科　脊椎センター

日　時　2022年6月24日（金）　11:50 - 12:50

開催方式　ハイブリッド開催（現地・WEB 視聴）※

※ WEB でのご参加に関する詳細は学会 HP をご確認ください。

場　所　第 1 会場 富山国際会議場 メインホール

座　長

戸川 大輔 先生

近畿大学奈良病院　整形外科・リウマチ科

本セミナーは、日本整形外科学会専門医資格継続単位として
いずれかの単位が取得できます。

認定単位：脊椎脊髄病医単位（SS）1 単位
必須分野：[4] または [7] 脊椎・脊髄疾患

学会 HP

共 催：第 12 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST 学会）　ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社　デピューシンセス事業本部　スパイン ビジネスユニット

キトキト！ランチョンセミナー 1

骨粗鬆症性椎体骨折に対するステントバルーンを用いた経皮的椎体形成術の適応と利点

南出 晃人

獨協医科大学日光医療センター　整形外科　脊椎センター

骨粗鬆症性椎体骨折（OVF）の約 36%に進行性の椎体圧潰を来たし、約 14%で偽関節に至ると報告されている。その結果、腰背部痛遺残、椎体骨折後の脊柱後弯変形、神経障害などを来す症例も少なくない。さらに、臥床、安静による廃用性の四肢、体幹の筋力低下、全身状態への影響、それに伴う長期間にわたるリハビリ・要介護の必要性など、保存的治療による多くの問題がある。近年、OVF 後の椎体圧潰進行、偽関節に至る予後不良の特徴的な画像所見が報告され、その予見が可能となってきている。すなわち、受傷時に椎体骨折の予後は決定されることは過言でもない。また、高齢者では社会復帰には長期間を要し、受傷前の ADL,QOL を維持することは困難となる。そこで、最近、早期からの外科的介入（経皮的椎体形成術 BKP: balloon kyphoplasty）が積極的になされるようになってきているが、その適応については確立されておらず、エビデンスが待たれているところである。患者年齢、活動性などにより手術の目標設定が異なり、80 歳以上の超高齢患者では除痛、早期離床・社会復帰からの受傷前の ADL,QOL を維持が目標となり、60 歳代、70 歳代では、椎体圧潰の進行、偽関節に伴う脊柱アライメントを考慮した目標設定となってくる。本講演では、上記のように OVF に対する年齢別の早期 BKP 介入の適応の違いとその意義、そして、Vertebral Body Stenting (VBS) システムを用いた新しい経皮的椎体形成術を紹介し、その使用経験から VBS の利点、従来の Balloon Kyphoplasty (BKP) との使い分けについて述べる。さらに、このコロナ感染禍で診療体制の変化に伴う手術時の診療支援も変化しつつあり、Web 支援による医療機器メーカーの立ち合いに取り組んでいる。それらには医師と手術に携わる医療従事者の連携が重要となり、チーム全員が共通の目標に向かい、理解し、各自の役割分担を尊重しつつ協働するチームビルディングを確立することであり、今後の手術支援のあり方として紹介する。

DePuy Synthes
THE ORTHOPAEDICS COMPANY OF Johnson & Johnson

製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
デピューシンセス事業本部 スパイン ビジネスユニット
〒101-0065 東京都千代田区西神田 3 丁目 5 番 2 号
販売名：VBS ステントバルーン ● 承認番号：30200BZX00409000
販売名：アクセスキット ● 認証番号：302ADBZX00101000
販売名：インフレーションシステム ● 届出番号：13B1X00204SS0033
販売名：Vertecem V+ 骨セメントキット ● 承認番号：30200BZX00192000
販売名：骨セメント用器械セット ● 届出番号：13B1X00204DS0069
©J&J K.K. 2022 ● 212868-220509

dps.jjkkpro.jp